

議会 だより



「白川郷学園9年生が議会一般質問を傍聴」

9月21日(水)に開催した第3回議会定例会の一般質問に、白川郷学園9年生が傍聴に訪れました。これは本年12月に開催を予定する模擬議会に向けて理解を深めるために授業の一環として活動するものです。議員の一般質問とその答弁を聞く子ども達は真剣な眼差しで一生懸命メモを取っていました。

第39号

令和4年10月11日
発行

CONTENTS

第3回議会定例会……………	2	議会の行事結果……………	9
令和3年度 決算認定のツボを解く…	4	七転八起の挑戦者たち……………	10
令和4年度 総務産業常任委員会 視察からの報告…	4	要望活動と養豚場臭気対策の議員研修…	10
第3回議会定例会 一般質問……………	5	議会探検隊募集……………	10
		編集後記……………	10



白川村

shirakawa village

議 会
広 報

令和4年度第3回議会定例議会は、令和4年9月13日(火)から9月21日(水)の会期で開催し、議会報告、任命同意、選任同意、条例改正、決算認定、補正予算、専決処分の報告について慎重に審議が行われ、原案どおり可決しました。

◆第3回議会定例会◆

●議会報告(5件)

◎令和3年度決算に基づく財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

▶地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、白川村代表監査委員の根尾俊道氏より財政健全化及び資金不足比率に関する審査意見書が報告されました。財政健全化判断比率の指標となる「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」はいずれの比率も良好であり、特別会計における資金不足も生じていないことから健全な範囲で推移していることが報告されました。

◎令和3年度飯島観光開発株式会社の経営状況の報告について

▶営業日数は361日で、総売上額は92,176,754円で、前年度比98.2%となった。今季の営業利益(損失)は-7,999,231円。雇用調整助成金をはじめ、緊急雇用安定助成金、一時給付金、月次給付金等の申請や白川村役場からの指定管理料等により、営業外収益6,314,176円で経常利益(損失)は-2,237,527円となった。

◎令和3年度大白川温泉観光株式会社の経営状況報告について

・温泉事業

年間入浴者数は28,575名で前年比126%、5,925名増となった。ほとんどの月が前年を上回った一方で、源泉の不都合で8日間臨時休業となり2月は大幅なマイナスとなった。キャンプ場利用者の増に加え、前年同様に福祉センター事業も4,700名の利用をいただいている。

・道の駅事業

シーズンを通しての結果として売上が昨年、一昨年を上回りましたが、過去の数字を見てみると今後、改善、改良をしていけば、まだまだ伸びる余地はあると感じている。道の駅に立ち寄るお客様や車中泊するお客様も増え、道の駅にも賑わいが戻って来る事を期待したい。

◎令和3年度一般財団法人緑地資源開発公社の経営状況の報告について

▶前年より事業収入が38.7%増加とやや好転し、預金の取り崩しなどでかろうじて収入の半分を自己財源で賄ったが財政状況は逼迫している。人の流れは回復基調であり、今後も入園者数の増加が見込まれることから、新た

◆令和4年度 一般会計及び特別会計補正予算収支状況

(単位：千円)

会 計 名		補正前の額	今回の補正額	補正後の額	
一 般 会 計		3,747,031	220,960	3,967,991	
特別会計	国民健康保険	(事業勘定)	245,412	725	246,137
		(直診勘定)	136,500	-	136,500
	介 護 保 険	(サービス事業勘定)	235,508	-	235,508
		(保険事業勘定)	3,378	-	3,378
	後期高齢者医療		35,487	-	35,487
	簡 易 水 道		52,300	687	52,987
	公 共 下 水 道		117,300	793	118,093
	温 泉 開 発		34,992	46	35,038
小 計		860,877	2,251	863,128	
合 計		4,607,908	223,211	4,831,119	

な取組の結果は来期の収支に顕れる事が期待出来る。

◎令和3年度一般財団法人世界遺産白川郷合掌造り保存財団の経営状況の報告について

▶駐車場入込数は普通車が前年比1割増、大型バスは2割の微増。本年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により蔓延防止や緊急事態宣言が発令され、感染拡大前とは未だ大きな開きがある。「茅刈り機」については降雪までの短い期間での確認となったが、茅の自給率向上への効果が期待できる。

●任命同意（1件）

◎白川村教育委員会の委員の任命

▶令和4年9月30日をもって任期満了を迎える教育委員会の委員の森崎雅樹氏の再任について同意しました。

森崎 雅樹 氏

白川村大字鳩谷397番地

任期 令和4年10月1日から

令和8年9月30日

（4年間）



●選任同意（1件）

◎白川村固定資産評価委員会の委員の選任

▶令和4年12月19日をもって任期満了を迎える白川村固定資産評価委員会の委員の志茂勝氏の再任について同意しました。

志茂 勝 氏 白川村大字荻町89番地の1

任期 令和4年12月20日から

令和7年12月19日（3年間）

●決算の認定

◎令和3年度白川村一般会計及び特別会計決算について次の通り認定しました。

- 一般会計歳入歳出決算の認定
- 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
- 介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
- 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- 簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定
- 公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定
- 温泉開発特別会計歳入歳出決算の認定
- 白弓スキー場特別会計歳入歳出の認定

●条例の改正（1件）

◎白川村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

▶職員の育児休業の取得回数制限の緩和、育児参加のための休暇の対象期間の拡大等により条例の一部を改正しました。

●補正予算（5件）

◎令和4年度白川村一般会計及び特別会計補正予算について次のとおり議決しました。

- 白川村一般会計補正予算（第3号）
- 白川村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 白川村簡易水道特別会計補正予算（第2号）
- 白川村公共下水道特別会計補正予算（第2号）
- 白川村温泉開発特別会計補正予算（第2号）

●専決処分の報告

◎道路メンテナンス補助事業における戸島橋補修工事の継続費へ変更によるもの。

- 令和4年度 6,000万円
- 令和5年度 3,000万円

◆令和3年度 一般会計及び特別会計決算収支状況

（単位：円）

会計名		歳入額	歳出額	差引額	翌年度繰越財源額	実質収支額	
一般会計		4,352,106,998	4,213,979,926	138,127,072	51,776,000	86,351,072	
特別会計	国民健康保険	(事業勘定) 245,180,378	207,706,945	37,473,433	0	37,473,433	
		(直診勘定) 137,300,212	125,215,161	12,085,051	422,000	11,663,051	
	介護保険	(サービス事業勘定)	3,228,555	310,200	2,918,355	0	2,918,355
		(保険事業勘定)	245,263,252	203,504,452	41,758,800	0	41,758,800
	後期高齢者医療	31,284,358	29,728,817	1,555,541	0	1,555,541	
	簡易水道	64,510,697	63,444,361	1,066,336	0	1,066,336	
	公共下水道	100,635,311	97,022,599	3,612,712	0	3,612,712	
	温泉開発	26,646,955	22,508,708	4,138,247	0	4,138,247	
	白弓スキー場	1,134,576	1,114,640	19,936	0	19,936	
小計	855,184,294	750,555,883	104,628,411	422,000	104,206,411		
合計	5,207,291,292	4,964,535,809	242,755,483	52,198,000	190,557,483		

令和3年度 決算認定のツボを解く

決算特別委員会にて多くの議論と協議を要した事業の決算認定を紹介します。

◎白川村の基金について

白川村の積立基金は特別会計を合わせると21の基金があります。令和3年度の積立額は6億3,100万円増、取崩額が735万円で総額49億770万円となっている。令和3年度では減債基金に4億9,000万円の増額。これは経済不安等による歳入の落込みに備える為に実施したもので、公債費は歳入の減少等に関係なく支出されなければならない義務的経費である為、公債費対策として増額を行いました。村の財政安定に向け今後も注視して参ります。

◎村税について

村税は個人、法人、固定資産、固有資産、軽自動車税、たばこ税、入湯税等で公正されています。現年分や滞納分、繰越滞納分の未収額は1,254万円。特に繰越の滞納分については、職員が滞納者の取引銀行を調査し、又勤務先を調べ差押さえを行うなど、県税事務所にアドバイスをいただき、強力に徴収業務に努めています。

◎不用額について

不用額（予算上余った金額）については年度末の3月までに補正予算等で処理できず、あるいは4月以降に支払うべきもので予め予算を残す必要がありますが、昨年比では1,000万円増の1億5,060万円となっている。予備費も関係するところもあると考えるが適正な処理を行い、不用額の減になるよう議会としても指摘して参ります。

白神山地から学んだもの～世界自然遺産の利活用から見る大白川の可能性～

令和4年度 総務産業常任委員会視察から

「大白川のブナは、世界遺産の白神山地に負けていない貴重な資源だ。と言われる真偽を確かめたい。」と言う、昨年の会議で出た言葉を想い個人的に調査を開始。白神山地はただ勝手に見るだけなのか？逆に許可なくして入れないのか？等と勝手に思い込み調べを進めると、ビジターセンターを完備、有料のツアーガイドも設置、宿泊施設も含め滞在も可能になっており、保存と活用のシステムが構築されているのを確認。コロナの動向に不安はあったものの視察を提案し了承。早速詳細を詰めようとしたところに、青森県のニュース速報が画面に！冬の豪雪の影響で白神山地へ通じる国道が50メートルに及ぶ土砂崩れで開通時期は未定というニュース。当時の渡辺たけゆき国土交通副大臣の秘書さんをお願いして状況を把握。助言も頂く中で、白神山地へは東からと西からのルートがある事が分かり、有料のガイドをお願いする関係上、通行に問題のない日本海側から入る西ルートを選択。散策メニューは数コースあるものの、十二湖をメインとした約3時間のコースを選択。一番の収穫は、有料ガイドさんを頼んだこと。マタギと言われる人たちが山を敬いながら狩猟をして暮らしを営んできたという歴史が、世界遺産になった重要なポイントだと感じました。また、十二湖という小さな池が土砂崩れ等で出来た歴史。それによって生態系にも変化が生じて、場所によって群生する巨木の種類が違う等、多くの事を学びました。ガイドさんは、マタギ舎という会社に所属しており、さらにツアー会社が間に入っていたこともあり、今回のガイド代金は、参加者一人につき約6,500円です。皆さんは、ツアーガイドという職業が生業として可能だと思いますか？そして、大白川との決定的な違い。国道からのアクセスです。メインとなる「青池」の近くまで、10分程度あれば車で安全に行けます。毎年長期間の通行止めとなる白山公園線の現状では、活用はほど遠いなあと感じてしまいました。しかし、今夏ほんの少しの間でしたが、蟻原さんの仕掛けたアクティビティーは大絶賛されており、大白川の持つポテンシャルは第1級であると信じております。私たちも政治的なお願いは各方面に続けます。どうか色々な知恵と試みを一緒に考えましょう。

(高桑 徹司)

高校生までの医療費無料化



大田 貢 議員

Q 時代に合った子育ての環境づくり

A 飛騨三市一村で足並みをそろえる

Q 平成23年より成原村政が始まり「後押し行政・孫の手行政・母の目行政」三つの柱の基「いつまでも住み続けたい村づくり」の行政運営に努力されています。

「母の目行政」の「共に育つ心」についてお聞きします。村長は「子どもの育ちや子育てに係る環境を踏まえ、子育ての負担や孤立感を軽減し、社会と地域全体で支える子ども・子育ての環境づくりを積極的に進めてまいります」と言われています。

そこで、昨年一年間、中学生以下の医療費はどの位かかったのかお聞かせ下さい。

現在の高校生の人数と一年間にかかったと思われる医療費は、どの位だったのかお聞かせ下さい。

また、行政にどれだけの負担があるのかにもお聞かせ下さい。

白川村第2次総合戦略実施計画「人口は維持以上を目指し持続可能な村をつくる」とあります。是非とも白川村に住みたい、移住者対策の為、安心して子育ての出来る環境づくり対策の為、人口減少対策の為、高校生までの医療費の無料化をお願いしますが村の考えをお聞かせ下さい。

A 中学生以下の医療費は、令和3年度の実績で受給者資格者数109名、1,733千円となっており、県内受診分（現物給付）が1,264千円、県外受診分（償還払い）が469千円となっています。また、一人当たりになると16千円程度となります。

次に、現在の高校生の人数ですが、総数40名で、内訳として高校1年生が15名、高校2年生が13名、高校3年生が12名となっており、高校1年生15名中、飛騨地区への通学は12名、県内1名、県外は2名、高校3年生12名中、飛騨地区9名、県内1名、県外2名となっています。また、1年間にかかった医療費の額についてですが、社会保険等の対象者については情報が入らないため、国保加入者のみの情報となりますが、令和3年の1年間で該当者が2名、一人は年間2件で3,309円、もう一人は年間2件で5,169円となっています。

最後に村行政の負担ですが、就学前の医療費助成が690千円（県補助1/2）で、義務教育終了までの医療費助成1,733千円を合わせると村行政の負担は2,423千円となっています。

以前にも同様のご質問をいただき答弁させていただいていますが、全額無料とするのではなく、一定の個人負担は必要だと考えてます。また、福祉サービスの水準については飛騨3市1村で足並みを揃えたいという村長のご意向もあるので、今後の動向に注視しながら前向きに検討していきたいと思えます。

（答弁：古田村民課長）

A 高校生までの医療費無料化は、岐阜県自治体の6割が実施しています。この医療費無料化の目的は、「子どもの健康増進」、「子育て世帯の経済的負担軽減」、「子育て世代の満足度の向上」が目的であると考えます。また、この施策は、かつては裕福な自治体の実施し、最近では競って各自自治体の実施をしている現状です。

「子どもの健康増進」は、大きな病気に対する早期発見に期待できる一方で、過度な受診機会を生み出す可能性が生じ、医療保険制度の在り方や医療提供体制の面からは安易に無償化するべきではないと医療関係者からの声も上がっています。

「子育て世帯の経済的負担軽減」については、小児癌や難病の場合には小児癌性特定疾病の対象となり、各種負担軽減を図る施策が講じられていたり、高額医療制度が充実していたり、既に負担軽減がなされています。「子育て世代の満足度の向上」は、児童手当の支給や第3子以降の支援策など、多くの支援策を講じています。また、商品券の発行や第3子以降や片親家庭の支援など、様々な方法で支援を実施しています。また、そうした子育て世代からの要望がないのも現実です。

確かに一つの福祉政策であることは認識していますが、この施策は少子化対策とは違い、何よりも「後戻り出来ない福祉政策」であることを考えると、慎重な検討をするべきですし、現時点の村の施策としては難しいと判断しています。

（答弁：成原村長）



森崎 敏克 議員

保育園通園バスの安全確保について

Q 保育園通園バスの安全確保を万全に！

A 安全対策の見直しを徹底して行っています

Q 静岡県の幼稚園で、通園バスの車内に取り残された3歳の女の子が熱中症で死亡した事件が起きました。このような悲惨な出来事は決してあってはならない事であり、女の子の気持ちを思うと本当に心が痛みます。

2021年にも福岡県でも、同じような事件が起きています。国は安全対策の見直しを徹底するよう通知を自治体に出したものの、今回の事件は園や行政では形骸化していたといわざるを得ません。

白川村でも、保育園の通園バスが運行されるようになります。

今回の事故でこれから保育園の通園に送り出す保護者の方の不安は計り知れないものがあります。今回の事故を教訓に、保育園の通園時の送迎マニュアル、バス車内に設置する置き去り防止装置の設置、危機管理マニュアルなどどのように取り組んでいるのか保育園の対応は？

A 白川村でも昨年度からタクシー会社への委託により園児の送迎を行えるようになり、今年度は幼児バスを購入し運行する予定です。この時期に、このような大変痛ましい事件がおり、幼児バスで保育園に送り出す保護者の方の不安も思い、改めて安全管理対策の見直しを徹底して行っております。現在も送迎バスに配置された添乗員と、1運行ごとに送迎する園児の連絡票を、送り迎えにあたる保育士とやり取りして、チェックを行い、園児の取り残しがないようにしております。送迎のマニュアルについては、白川郷学園スクールバスの送迎マニュアルを参考に策定、運用しております。今回の事件を教訓に、再度運航を受託する会社との確認を行うなど危機管理への徹底を図ります。バスへの置き去り防止装置についても、設置の方向で検討します。

置き去り防止装置については、幼児バス導入のこの時期に設置する方向でぜひ検討を願います。

(答弁者：吉實保育園長)

養豚場臭気対策について

Q 養豚場の臭気対策を！

A 農場の理解と協力を得ながら、確実に解決したい

Q Q:白川村は、企業誘致の一環として養豚場の誘致に取り組んできました。いろいろ紆余曲折もありながら今の飯島区下田地区に建設しました。企業誘致を進めるにあたり、地域住民にはいろいろな不安もありました。その中の一つは、臭気問題です。誘致にあたり、行政・議会は最新の養豚場を視察し、説明を受け臭気に関しては問題がないという結論に至り、地域住民に説明を行いました。しかし、養豚場が稼働し飼育が始まってからは、たびたび臭気が集落まで及び、多くの苦情が寄せられています。村としても、業者の方と共にいろいろな対策を行っていると聞きますが、地域住民には詳しい情報がほとんど入ってきません。行政はもっと丁寧な情報提供を地域住民に行うべきです。

白川農場で生産される「白川郷 結旨豚」は村内外で高い評価を得ていると聞きます。結旨豚を白川村の特産品にするためにも、地域住民との共存共栄は不可欠なものと考えます。

村としてこれからの臭気対策の取り組みはどのようにしていくのか説明をお願いします。

A 養豚場の臭気対策について、昨年度は臭気測定、臭気特定を行い、対策としてコンポストの最終処理槽からのアンモニア臭の対策として脱臭水槽を消臭シートで囲いました。また、農場内の薬剤散布、消臭シートの設置、堆肥の切り替えし等の考慮などを行っています。

本年度は専門家に調査をいただき、匂いの発生源についての指導や対策について検討を行っています。さらに補正予算にて堆肥舎の排気部分について更なる対策を進めていきます。次に村民モニターを5月から実施し、飯島、鳩谷、島地区の13事業所に協力をお願いし、回答を毎月回収し取りまとめを行っています。今後、このモニターの状況や対策については、関係地区への報告告知を行います。

白川農場は村の一次産業の中核として位置づいており、今後の発展のためにも臭気対策については農場の理解と協力を得ながら、確実に解決したいと思っています。

(答弁者：飯波基盤整備課長)

保育園の安全確認について



宮部 俊典 議員

Q 保育園の安全安心のために!!

A 事故を起こさなため、保育士の増員・育成が重要!!

Q 現在白川村保育園は、統合に向け着実に進行している状況であります。必ず素晴らしい保育園になる事を期待しているところであります。そんな中幼児の事故が、富山県の高岡市の水害、静岡県バス置き去り事故と相次いで起きた事は、誠に残念でなりません。全国的に再発防止の対策が重要課題であると考えます。そこで、あくまでも確認のために、お聞きしますが、村の保育園の対策はどの様に実施されているのか、朝の出席確認や体調管理、点呼確認の方法や回数、安全・安心のためにお答え下さい。

A 統合後の白川保育園について、議員にご期待をいただき感謝申し上げます。そんな中起こった幼児の事故は大変痛ましく、この様な

ことが起こらない様、保育園として行っている対策について説明させていただきます。コロナ感染症防止のため、初めに検温をおこない、発熱チェック等確認します。午前10時の時点で、出欠等の情報の整理・確認をします。10時と13時に全園児の検温や健康観察を行い、屋外の出入りの度に人数確認を行っております。それから、園児自らが命を守る行動ができるように指導・支援も常に行っているところです。しかし、保育の現場では、対策や確認をしても、ヒューマンエラーが存在するのも事実です。こういった事件の背景には、慢性的な保育現場の人材不足があります。痛ましい事故を絶対起こさないためにも、保育士の増員と育成を行う事が必要であると改めて思っていますので、理解と協力をお願い申し上げます。

(答弁者：吉實保育園長)

未来に残す世界遺産のために!! 自然と環境!!

Q 未来に残す自然を守って欲しい!!

A 適正な森林管理を促す事が必要!!

Q 白川郷は、合掌造りそしてまわりと彩る自然風景を含めて、世界遺産であると考えます。春夏秋冬・四季それぞれの背景と合掌造りとの景観が、観光客を魅了していると思います。ですから、自然風景は必ず守らなければならないものであると考えます。ですが、初夏の山を見た時、赤い杉を確認しました。杉は本来、自然色の緑を象徴すると思っていますので、非常に違和感を感じました。何故この様な事になるのかと、マタギの人に聞いてみると、鹿の被害であるとの事です。杉の樹皮を剥ぎ取って食べるため、立木が枯れてしまうのが原因の様です。この被害は全国的な問題となっていますが、杉が枯れるまでには、数年かかると考えますと、来年以降、増々赤い杉が目立って来ると予想されます。森林被害の約7割は、鹿によるものであります。当然鹿の駆除は実施されていますが、被害状況の実態も必要で、是非、調査して対処して頂きたいと考えますが、お答え下さい。

A 白川村の山林面積は33,957haで、村の面積の95.7%を占めており、村の景観は森林によって成されております。人工林につきましては、1,650haで全体の5%です。人工林率は非常に低い状況であります。議員ご指摘の赤く立ち枯れとなっている杉の木は、クマ・シカなどによる獣害であります。獣害対策については、農地だけではなく森林での捕獲も行っていますが、近年は駆除件数は非常に増えてきています。ツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシの捕獲数ですが、令和元年は総数で62頭でしたが、令和2年は321頭、令和3年は254頭と5～6倍に増えており、カモシカの個体数調整についても、3年ぶりに5頭の捕獲が許され実施しております。森林保全対策については、飛騨農林事務所林業課等の専門家に調査指導を願い、森林所有者の意向に沿って、清流の国ぎふ森林・環境税を活用した緑豊かな清流の国づくり施策に取り組む方法が良いかと思っております。山林については、所有者の管理離れとなっている状況ではありますが、状況を理解していただき、適正な森林管理を促していかなければと思っております。

(答弁者：飯波基盤整備課長)



大田 忠広 議員

子供たちの夢のために！

Q 白川村の奨学金の現状について

A 子供たちの夢達成の支援に努めています！

Q 白川村の基金の中で奨学資金や育英資金は4基金があります。この基金については一般質問でも何度か取り上げられています。令和3年度決算では奨学資金給付基金が40万円支出され残高が1,516万円。小坂育英資金交付基金が138万円支出され残高が2,935万円。坂本教育振興基金は0で残高が2,900万円。森崎育英交付基金は58万円支出されて残高が2,854万円。白川村未来を担う人材育成基金は該当者が無く、7社からの寄附460万円の増額で残高3,560万円となっています。村民の方から話を聞くと特に白川村未来を担う人材育成基金についてはハードルが高いようで、実績も無く、基金が3,000万円を超えています。決してばらまくような使い方を求めている訳ではありませんが、実際に夢を持ち基金に応募をされた学生は落胆したであろうと思います。そこで令和3年度の基金への応募者数と利用者の実績。令和4年度の現在の応募状況。当然給付規則はありますが、基金をしっかりと子供たちの将来の為、あるいは白川村の未来の為に生かす為の今後の取り組み方や給付規則の見直し等について村の考えをお聞かせください。

A 現在の基金は5種類がございます。令和3年度決算の「小坂育英資金交付基金」の実績額が140万円、「森崎育英資金交付基金」の実績は60万円。「坂本教育振興基金」については、寄付者の坂本氏の意向により、奨学金ではなく白川郷学園の科学系書籍又は理科の備品購入とありますので、令和3年度の実績は0円ではなく344,300円の支出をしております。また「未来を担う人材育成奨学資金」の寄付者でありますが、本日までの状況で、13社から5,680万円の寄付金がございます。令和3年度の基金への応募者数と利用者でございますが「白川村奨学資金給付基金」については応募者数と利用者とも2名。「小坂育英資金交付基金」については応募者6名で利用者が5名。「森崎育英資金交付基金」については応募者・利用者とも2名。「未来を担う人材育成奨学資金」については応募者3名で該当者はいませんでした。令和4年度については6月20日に選考委員会を行

い、「白川村奨学資金給付基金」は応募者・利用者とも1名。「小坂育英資金交付基金」は応募者・利用者とも5名。「森崎育英資金交付基金」は応募者・利用者とも2名でありました。

「未来を担う人材育成奨学資金」につきましても、現在審査中ということもあり、応募者数については、個人情報漏洩が危惧されますので、回答することはご遠慮させていただきたいと思っておりますので、ご理解のほどお願いします。

また、「未来を担う人材育成奨学資金」の制度改正についてですが、寄付者様のご意向やどこにもない奨学金制度ということもあり、制度や審査方法が非常に難しく、給付条件の「志を高く目指す」や「SDGs実現に貢献することを視野に持つ」という点が、選考生に理解がしづらく、選考生が理解不十分のまま審査を受けていた状況でありました。このようなことを踏まえ「白川村の若者の人材育成という目的」の奨学金のため、協議を重ね夢実現シートにマンダラチャートを導入し、白川村独自の「伴走型」の審査方式を取り入れえました。

「未来を担う人材育成奨学資金」のスケジュールですが、4月・5月の「教育委員会定例会」において制度改正の説明及び協議を行いました。6月に「広報しらかわ」及びホームページで掲載しました。同時に昨年度の選考生及び現役の高校2年生・3年生に対して案内文を送付しました。7月20日に応募締切をし、8月2日に第1回の選考会を開催いたしました。

今後については9月28日に第2回目の選考会を計画しており、「質問やアドバイスの場」を開催する予定です。

11月中旬に第3回の選考会を開催し、選考生によるプレゼンテーション及び面接を行い、12月には合格決定通知が交付される予定となっております。

「未来を担う人材育成奨学資金」につきましても、企業版ふるさと納税をもっと積極的に活用されたいという要望が寄せられたことも踏まえ、村長からも見直しの指示を受ける中で、教育委員会で検討と協議を重ねて、見直しを図り、今後は大筋の変更はないですが、積極的応援という姿勢に立って、子供たちの夢達成の支援ができるよう努めてまいりたいと考えているところであります。

(答弁者：鈴木教育委員会事務局長、宮丸教育長)

日本で戦争が起きる可能性がある？



坂本 正代 議員

Q 「日本で戦争が起きる可能性がある」発言を白川村行政は、どう受け止め取り組むのか。

A 国民保護計画に基づき、命を守る行動をとるよう取り組みます

Q 先日、報道において、本年8月31日研修会に自民党の麻生太郎副総理（81）が、中国による台湾への圧力が強まる中、「台湾有事」が起きた場合、日本で「戦争が起きる可能性がある十分に考えられる」との見解を示したとありました。台湾海峡が封鎖されれば物流が止まる事が想定され、食料品・燃料・医薬品・日用品が手に入らなくなり通信網破壊、電機機器の停止が起こった場合村民はパニック状態に陥る事が予想されます。有事が起きた時、万が一の心構え、問題や課題を村行政はどのようにお考えでしょうか？

A 大変難しい質問ですが台湾有事、ロシアのウクライナ進行も大きく報道されています。戦争となった場合には、国の防衛となり政府が主導し自衛隊による自国防衛を行うこととなります。村として対策することは、迅速な情報収集と村民周知、上位機関への応援要請、人命を最小限に食い止めるための避難誘導、安否確認、被害があった場合の対策とその後のインフラ復旧ということになり、場合によっては、

村外の安全な地域への集団避難も必要となります。いずれにいたしましても、台湾有事のみならず、北朝鮮、ロシア侵攻についても心配しているところであり、国際侵攻や紛争が起こらない事を願うばかりですが万が一が一起こった場合には、国民保護計画に基づき対応を職員はもとより、消防団員・住民が一丸となって命を守る行動を取るよう取り組みます。

（答弁者：岩本総務課長）

8月行事結果

日	曜日	行 事	出席者
2	火	青森県白神山地視察研修	出席者 全員
3	水	福島県飯館村視察	出席者 全員
9	火	国道 360 号種蔵打保バイパス 開通安全祈願祭・記念式典	出席者 高桑議長
22	月	例月出納検査	出席者 上手議員
24	水	岐阜県後期高齢者医療広域連合 議会定例会	出席者 高桑議長
31	水	議会運営委員会	出席者 全員

7月行事結果

日	曜日	行 事	出席者
5	火	議員懇談会	出席者 全員
20	水	金子俊平衆議院議員陳情活動	出席者 全員
		渡辺猛之国土交通副大臣陳情活動	出席者 全員
21	木	養豚場臭気対策に関する研修	出席者 全員
		議員懇談会 大野泰正参議院議員陳情活動	出席者 全員
25	月	リニア中央新幹線建設促進岐阜県 期成同盟会令和4年度定期総会	出席者 高桑議長
		例月出納検査	出席者 上手議員
29	金	一般国道 304 号道路整備促進 期成同盟会通常総会	出席者 高桑議長 大田貢総務産業 常任委員長

9月行事結果

日	曜日	行 事	出席者
7	水	議員懇談会	出席者 全員
13	火	第3回 議会定例会（初日）	出席者 全員
		第1回 決算特別委員会	出席者 全員
		第3回 広報委員会	出席者 大田忠広委員長 坂本副委員長 高桑委員
16	金	第4回 総務産業常任委員会	出席者 全員
		第1回 世界遺産保存対策特別委員会 第2回 決算特別委員会	出席者 全員
20	火	例月出納検査	出席者 上手議員
21	水	第3回 議会定例会（最終日）	出席者 全員
22	木	白川郷学園体育大会	出席者 高桑議長 大田忠広副議長

みなさん、こんにちは。今回は、白川郷学園でも運用しております「ICT教育」について、ICT支援員をされている柴原孝治さんと一緒に学びましょう。ICT教育とは、タブレット等を使って先端技術の効果的な活用を図る情報通信技術を意味しており、ネットワークを利用した情報や知識のやり取り、人と人の繋がりに着目した教育現場での活用を目指した教育です。その実現を促す国の政策が、「GIGAスクール構想」と言います。全国の児童と生徒を対象にした1人1台端末と高速ネットワーク環境を整備し、21世紀型教育の実現を目指す文科省の取組です。

- Q** 柴原さん、こんにちは。私の中で柴原さんは、今日の白川郷学園のICT教育に関わる先駆者のお一人であり、特にコロナで最初の緊急事態宣言時に、各家庭と学校をiPadで繋いだオンライン授業は、柴原さんの力が大きかったと伺っておりますが、当時の思い出とかありますか？
- A** 当時、総理大臣の全国一斉休校の宣言を見た翌日に教育委員会に飛び込んで白川郷学園でオンライン授業をやりたいと話をしたのをよく覚えています。特に一人一台のタブレット活用が進んでいた学園では、子供達が使い慣れていることもあり、すぐにでも導入出来るなど考えていました。どちらかと言うと、子供達より先生や親の大人の方がオンライン授業を受け入れる事が難しいのかなと(笑)とは言え、学園も教育委員会も前向きでトントン拍子でした。先生たちが授業をしながら、zoom(オンライン配信)を操作に慣れるまでが勝負と思っておりましたが、あの当時は先生達が試行錯誤を繰り返して取り組まれており、頼もしく感じたことを覚えています。
- Q** 私たちもオンライン授業の様子を学園に視察に行き、先生方の創意工夫を感じたのを覚えております。現在は、国が進める「GIGAスクール構想」の政策が加速し、今ではタブレットが1人1台は当たり前となりましたが、全国的に見て先進地と呼べる地域をご存知であれば教えてください。
- A** 自治体レベルだと熊本県や奈良市、埼玉県戸田市などは行政レベルでICT教育に力を入れていて、全国的に見ても高く評価されています。特に戸田市は、市内の学校と70を超える企業との連携が進んでいて、「世界で活躍出来る人間」の育成に注力されており、非常に注目されています。
- Q** えっ!?民間との協働をされている地域があるんですか。官民連携のお手本のような取組は羨ましい限りですが、そもそも国が進める「GIGAスクール構想」は、どのようなものなのでしょうか？
- A** GIGAスクールは本来、情報技術の活用よりも児童・生徒の主体的な学びを引き出すためのツールと言う位置づけなんです。つまり、タブレット端末を使って、知りたい情報を集めたり、先生や他の生徒と情報を共有し合うことが出来るので、本人が自ら学びを深めて行く事が可能になります。
- Q** タブレットが、子供たちの主体的な学びの手段の中心的な役割担う。これがICT教育の根幹であり目指す姿でもあるのですね。ただ、心配なのは自治体としての財源が決して多いとは言えない白川村のICT教育の将来ってどうなるでしょう？
- A** クラスの人数が多いと先生の負担や機材の準備などが重くのしかかり、児童・生徒一人一人と向き合うのは大変です。また、ICT教育と言う先端技術の性質上、多くの環境変化(あるいは進化)に伴うため、的確な判断を行いつつ打ち手を見直せる規模の自治体の優位性は言わずもがなです。つまり、ICT教育と言う観点においては、白川郷学園は非常に優位性の高い条件が揃っていると考えています。

ただ大きいばかりが優位ではないのですよね。安心しました。まだまだお伺いしたいところですが紙面の都合でお伝えしきれません。次号では、ICT教育の良し悪しや近い将来に向けての課題についてお聞きします。ごきげんよう。

～要望活動と養豚場臭気対策の議員研修～

7月20日～22日までの3日間の日程で、要望活動をして参りました。国会議員への要望を前に、一足先に村長と正副議長、地元議員の森崎議員、成原観光振興課長の5人で、公立メンテナンス(株)石塚会長へお礼のご挨拶と共に、村長からは企業版ふるさと納税のお願いをして参りました。その後、他の議員と合流して金子俊平衆議院議員、渡辺たけゆき参議院議員、大野泰正参議院議員へ要望を致しました。内容は、大きく3点。東海北陸道4車線化、尾神橋をはじめとした国道整備、継続的な河川の土砂浚渫。また、議員研修においては、渡辺事務所より手配を頂き、農林水産省畜産局の安松畜産振興課長補佐様より、養豚場の臭気対策について意見を交わさせて頂きました。現在、村では畜産整備機構畜産環境技術研究所の道宗氏(ご実家は西赤尾の行徳寺)にご来村頂き調査を頂き、9月16日に総務産業常任委員会において、オンラインで説明を頂いたところです。飯波基盤整備課長がコンタクトして頂いたのですが、なんと安松課長補佐様も道宗氏に相談しようとしていた事を知り、不思議なご縁があるものだなあと思ってしまうました。養豚場臭気対策については、今後も取り組みについて報告をさせて頂きたいと思えます。終わりに。村長と相談をさせて頂き、渡辺たけゆき参議院議員へ県内42市町村中1番でご当選の挨拶に伺おうと日程を早くから調整させて頂きました。無事にご挨拶が出来たのも、投票率県下1位をお示し頂いた皆様のおかげです。渡辺先生にも大変喜んで貰えました。改めて村民皆様にお礼を申し上げ報告と致します。(高桑 徹司)

議会探検隊募集 (議会傍聴です)

議会議員が心より皆様をお待ちしております。
一般質問で戦う私たちを、応援してください。

12月に開催予定の白川郷学園9年生による模擬議会の様子は、次回議会だより第40号(令和5年1月)で紹介いたします。

日時 令和4年12月定例会 一般質問

(開催予定 12月中旬 ※決まりましたら、早めにお知らせします。)

締切 催日の午前8時45分までです。

申込先 白川村議会事務局または、総務課まで

声は、
出せませんが



編集 後記

編集後記をご愛読頂きありがとうございます。

コロナ感染症の終息を心待ちにして日々を過ごしている中ですが、まだまだ行事においては活動制限しなければならない状況が続いております。辛抱強くなければなりませんね。それでも私たち一人一人の春夏秋冬を元気に楽しく過ごして参りましょう。

(坂本 正代)

